

## 第10回 『八戸工業大学同窓生の集う会』 ＜関東支部設立記念＞ご案内

盛夏の候、同窓生の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、過日開催の同窓会定例代議員会におきまして、八戸工業大学同窓会関東支部の設立が正式に承認され、これを記念して「第10回同窓生の集う会」を東京で開催することになりました。

関東地方には多くの卒業生がありますが、これまでなかなか顔を合わせる機会がなく、卒業後、大学から足が遠のいていた方もいらっしゃると思います。ぜひ、同窓生の集う会にご参加頂き、母校の懐かしい先生・同級生・先輩後輩の方々と、さらなる親交を深めていただきたいと考えておりますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

役員一同、心よりお待ちしております。

八戸工業大学同窓会関東支部  
支部長 石井博規

◎日時 平成22年9月18日(土)

第一部 14:00～15:00 関東支部総会・記念講演会 講演者：藤田成隆学長  
第二部 15:30～18:00 第10回同窓生の集う会

◎場所 八重洲富士屋ホテル(東京駅八重洲南口より徒歩5分程度)2階大宴会場「櫻の間」  
〒104-0028 東京都中央区八重洲2-9-1  
TEL 03-3273-2111(代) FAX 03-3273-2180  
URL <http://www.yaesufujiya.com/>

◎参加教職員 各学科より30名程度の教職員の方が参加する予定です。

◎会費 8,000円(当日会場受付にて申し受けます)

ただし、平成19～21年度の卒業生および女性は5,000円といたします。

【参加お申し込み先】

氏名、卒業学科・年度を記載の上、下記メールアドレスへご連絡をお願いします。  
同窓会本部事務局：dosokai@hi-tech.ac.jp

# 八戸工業大学 同窓会報

HIIT Alumni Association Journal

第16号

8月発行

八戸工業大学  
同窓会本部事務局

TEL:0178-25-8027

FAX:0178-25-3827

印刷・編集 榎イーピーエス

### HAMS(メールマガジン)会員 登録のご案内

登録手順1 仮登録

普段お使いの携帯電話もしくはパソコンから、下記アドレス宛に空メールを送信します。携帯電話をご利用の場合、QRコードからのアクセスが可能です。

[hams@alumni.hi-tech.ac.jp](mailto:hams@alumni.hi-tech.ac.jp)

登録手順2 本登録

空メールを送信した携帯電話もしくはパソコンに、自動で返信メールが届きます。返信メールの本文中にあるURLにアクセスすることで本登録が完了します。



### 東北支部同窓会のご案内

日時 平成22年8月28日(土) 17時00分より

場所 ホテルレオパレス仙台東口  
仙台市宮城野区榴岡4丁目6-28 TEL 022-706-0001

会費 5,000円

### 秋田支部同窓会のご案内

日時 平成22年10月16日(土) 18時00分より

場所 協働大町ビル  
秋田市大町3丁目2-44 TEL 018-863-2111

会費 5,000円



### 北海道支部道南分会同窓会のご案内

日時 平成22年10月23日(土) 18時00分より総会及び懇親会

場所 活魚海鮮料理・季節一品料理 「よし庵」  
函館市亀田町17-22 電話 0138-42-7611

会費 4,500円

※各同窓会ともに大学から多数の教職員が参加する予定です。

詳しくは同窓会HP(<http://alumni.hi-tech.ac.jp/>)にてご確認ください。

※参加申込みは、同窓会本部事務局

(TEL:0178-25-8027、E-mail:dosokai@hi-tech.ac.jp)でも受け付けております。

# 平成21年度八戸工業大学同窓会事業報告及び決算報告

平成21年4月1日～平成22年3月31日

## 事業報告

<本部>

月 日	事業内容	
6月27日 (土)	定例代議員会	18時30分
9月	同窓会報(第15号)発行	
9月12日 (土)	本部総会 仙台開催(東北支部主催)	
	第一部記念講演	17時00分
	第二部集う会	18時00分
11月13日 (土)	工大グループ同窓会連絡会	18時30分
11月28日 (土)	定例理事会	17時00分
3月20日 (土)	学位授与式	
3月20日 (土)	定例理事会	14時00分

<支部・分会>

月 日	事業内容	
5月22日 (金)	平成21年度水交会総会	18時00分
5月30日 (土)	学匠会幹事会	18時30分
7月4日 (土)	秋田支部総会	18時00分
7月11日 (土)	北海道支部幹事会	16時00分
	北海道支部総会	18時30分
7月31日 (金)	水交会役員会	18時30分
9月12日 (土)	第1回関東支部設立準備委員会	15時00分
10月10日 (土)	うみねこ会役員会・幹事会	14時00分
	うみねこ会懇親会	19時00分
10月10日 (土)	北海道支部道南分会総会	18時30分
10月24日 (土)	拓北会役員会	
11月14日 (土)	シビル会役員会・30周年記念総会	18時30分
12月5日 (金)	水交会関東支部役員候補者 選出に関する打ち合わせ	18時30分
12月12日 (土)	感性デザイン同窓会役員会	
12月5日 (土)	第2回関東支部設立準備委員会 支部会則案、集う会について	13時30分
1月30日 (土)	第3回関東支部設立準備委員会 支部会則修正案、集う会について	13時30分
2月20日 (土)	拓北会役員会	
2月27日～28日	卒業設計展・公開審査会(拓北会)	
2月26日 (金)	水交会役員会 役員選出、会則他について	19時00分
3月15日 (月)	うみねこ会幹事会	14時30分
3月20日 (土)	各学科分会	
3月26日 (金)	水交会役員会	19時00分
3月27日 (土)	北海道支部道東分会総会	17時30分

## 決算報告

一般会計

収入の部

項 目	予算額	決算額	差 異
会 費	7,480,000	7,100,000	△ 380,000
会報協力費	200,000	438,450	238,450
広告収入	630,000	180,000	△ 450,000
雑収入	40,000	46,016	6,016
前年度繰越金	10,250,793	10,250,793	0
収入総計	18,600,793	18,015,259	△ 585,534

支出の部

項 目	予算額	決算額	差 異
会 議 費	600,000	309,044	290,956
旅費交通費	1,400,000	1,385,920	14,080
印刷費	800,000	952,588	△ 152,588
通 信 費	1,900,000	858,497	1,041,503
支 部 関 係	1,400,000	817,507	582,493
運営費関係	500,000	150	499,850
分会助成費関係	1,800,000	1,213,178	586,822
業務委託費	300,000	258,636	41,364
積立金	2,000,000	2,000,000	0
慶弔費関係	500,000	252,792	247,208
予 備 費	7,400,793	1,263,905	6,136,888
支出総計	18,600,793	9,312,217	9,288,576

収入総計(決算額) - 支出総計(決算額) = 次期繰越金 8,703,042 円

特別会計

項 目	予算額	決算額	差 異
当座積立金	2,000,000	2,000,000	0
前年度繰越金	16,000,000	16,000,000	0
計	18,000,000	18,000,000	0

平成21年度監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。

平成22年6月18日

監事 千葉 兼喜  
監事 石藤 千春

平成22年度

## ● 定例代議員会報告

平成22年6月19日(土)、八戸プラザホテルにて平成22年度定例代議員会が開催されました。第1号議案では、同窓会の4番目の支部組織として関東支部の設立が認められています。9月18日(土)には、その設立記念総会と第10回同窓生の集う会が開催されます。第2号議案では、新役員の選任について審議され、白川直人会長の再任が了承されました。続いて、第3号議案では、同窓会事務業務の改善に向けた取り組みとして、会議・行事および財務の担当理事2名を配置し、同窓会業務の総括と企画・立案等を行うことや専属職員による同窓会事務業務の分担について提案がなされ承認されています。第4号議案並びに第5号議案では、平成21年度の事業報告と決算、平成22年度の事業計画と予算について審議され認められています。また、同窓会の継続的な運営のためには、会報の広告費と協賛金による安定した収入が必要であることが再確認されました。さらに、第6号議案において大学側より本学の活性化、とりわけ学生募集活動に対して同窓会への協力依頼があり、了承されています。

なお、代議員会における議案および報告は左記のようになっていきます。

### ● 議案

- 第1号議案 関東支部設置に関する件
- 第2号議案 新役員の選任に関する件
- 第3号議案 同窓会事務業務の改善に関する件
- 第4号議案 平成21年度同窓会事業報告及び決算に関する件
- 第5号議案 平成22年度同窓会事業計画及び予算に関する件
- 第6号議案 八戸工業大学学生募集活動への協力に関する件
- 第7号議案 その他

### ● 報告

- 第1号 八戸工業大学メディアセンターの完成について
- 第2号 同窓会への教職員派遣について
- 第3号 その他

平成22年度

## ● 「第8回北海道支部同窓会」

平成22年7月10日(土)18時30分から、ホテルオークラ札幌において第8回北海道支部総会が開催されました。同窓生および大学教職員あわせて50名近い参加があり、日頃疎遠になりつつある卒業生同士や恩師との情報交換交流を深めながら、同窓であることの絆を再確認し、今年も大いに盛り上がる会となりました。

余興では、支部の宴会部長である永田相談役の進行により、くじで決められたお題をもとにショートスピーチを行いました。参加者は、将来の夢や最近楽しかったこと等、それぞれ面白、可笑しく、また感動的なお話をしていました。遠く帯広から出席した小野寺一彦さん(昭和55年卒)が、優秀発表者に贈られる支部長賞に輝きました。おめでとうございます。

また、お忙しい中参加いただいた大学教職員に対してお礼を申し上げます。なお、来年度(第9回)の支部同窓会も7月に開催する予定です。多くの同窓会会員の参加を心よりお待ちしております。

八戸工業大学同窓会  
北海道支部  
支部長 大道 宏満

第8回 八戸工業大学同窓会 北海道支部総会



来年度(17号)会報に会社やお店の広告を掲載してみませんか?ご希望の学科ページに掲載することも可能です。同窓生の皆様宜しくお願い致します。詳しくは、同窓会HPでもご案内しています。多数の応募をお待ちしております。

1コマ (約6cm×4cm)	30,000円
2コマ (約12cm×4cm)	60,000円
3コマ (約18cm×4cm)	応相談

お問い合わせ先

八戸工業大学同窓会本部事務局  
〒031-8501 青森県八戸市大字妙字大開88-1  
TEL 0178-25-8027/FAX 0178-25-3827  
E-mail dosokai@hi-tech.ac.jp

広告募集

# 蒼峰会 活動報告

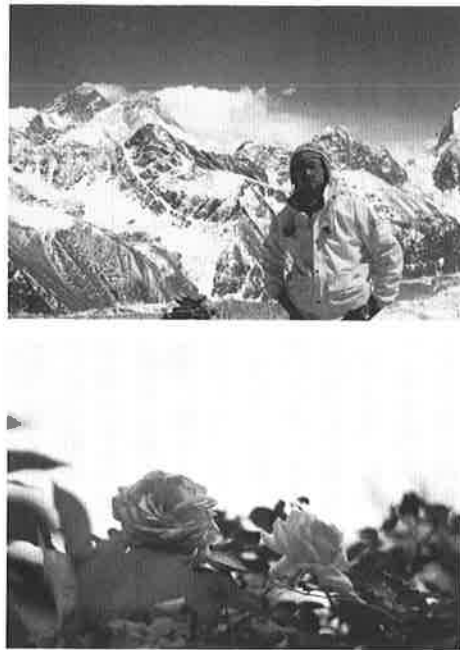
## 新任紹介

機械情報技術学科 佐藤 学

平成22年4月より八戸工業大学工学部機械情報技術学科に所属し原子力教育研究担当をしております。加えて基礎教育研究センターとエネルギー環境システム研究所を併任しております。研究内容としては、「レーザーを使ったミクロな機械特性の研究」を中心に進めているところです。異なる種類の材料の付着強度などのミクロな機械特性を強力なバルスレーザを使ったユニークな方法で調べます。原子力関連材料や薄膜・微粒子の付着力などの評価を通じてクリーンな環境・エネルギーの課題への貢献を目指します。今年度の具体的なテーマは以下に例示するように、いくつかの外部資金他、共同研究等に加えて頂き進めています。★レーザー衝撃法を用いたヘリウム粒子脆化直接測定（科学研究費補助金基盤研究(B)H2129)★液滴衝撃エロージョン(LDI)による配管減肉予測技術の高度化に関する研究(経済産業省H22「高経年化対策強化基盤整備事業(経年劣化現象の解明等)」)★低放射化構造材料のW被覆プロセス技術開発研究(核融合科学研究所H2123LHD計画共同研究)★レーザー衝撃法を用いた第一壁コーティング皮膜の機械強度の評価(核融合科学研究所H22一般共同研究)★低放射化フエライト鋼の微小硬さと引張挙動に関する研究(日本原子力研究開発機構幅広いアプローチ活動における原子炉工学研究開発に係る共同研究)★核融合炉用構造材料の機械的性質に関するモデリング(京都大学エネルギー理工学研究所附属エネルギー複合機構研究センター共同研究)★浮遊粒子状物質の住宅建材への付着力評価と環境汚染に及ぼす影響(トステム建材産業振興財団)

また、八戸工業大学の学科横断型原子力教育はこれまで他にもなかった取り組みとして注目されています。その教育実践にも微力ながら力を尽くしたいと考えております。

初夏にかけて八戸には花が多いことに気がつきました。近所の庭先ではバラが何種類も咲ききれいです。あつという間に夏が来て、そして過ぎていきそうですが近くの種差海岸や階上岳、名久井岳にちよつと遠くの八甲田の温泉や十和田の湖まで、家族共々当分は忙しい休日です。皆様、末永くどうぞよろしくお願い致します。



## 自動車工学コース整備実習開始

平成20年度に機械情報技術学科に開設された自動車工学コースも1期生が4年生となり、今年度より「自動車整備実習」に取り組んでいます。「自動車整備実習」は1年間をかけて、450時間以上にわたって実施される実習科目です。学生たちは数名の班に分かれ、自動車整備工場と同等の設備を有する自動車工学センターで、実際の自動車を教材として実習に取り組みます。前期の実習では自動車からエンジンを下ろし、エンジンを分解して整備し、組み立てて再度エンジンを搭載します。その後、エンジン調整の上、実際に自動車が行走可能か確かめます。また、後期の実習では自動車の安全な走行に大切な重要なブレーキやサスペンションなど、自動車のシャシに関する分解整備を行います。さらに、ヘッドライトの向きの調整やホイールアライメントと呼ばれるタイヤの点検整備記録簿の作成などの法規に関わる実習、故障の原因を突き止める故障原因探求なども行われます。この実習の内容は自動車整備士の実際の仕事を踏まえた

実践的な内容で構成されています。1年間の自動車整備実習に取り組むことで、学生たちは自動車整備士にとって必要な技術を身につけます。また、自動車工学コースでは、この実習と並行して自動車の構造や整備、法規に関する様々な講義が開講されており、学生たちは来年3月に実施される二級ガソリン自動車整備士の国家試験合格に向けた猛勉強に取り組んでいます。

## 学科近況報告

機械情報技術学科長 大黒 正敏

蒼峰会の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。ここ数年継続して学科教職員にも動きがありますが、本年度は東北大学から佐藤学准教授が着任され(自己紹介記事参照)、原子力関係の教育研究のほか物理関係科目も複数担当されるなど活躍中です。また、工藤雅成さんが図書館から技術員として加わりました。

昨年度は蒼峰会の皆様のご支援もあり、卒業生のほぼ全員の就職(進学含む)内定を勝ち取ることができました。紙面をお借りして御礼申し上げます。

さて、本年は東京で『同窓生の集う会』が開催されますが、学科からは、皆様お馴染みの加賀先生をはじめ、佐藤(松)、齋藤(入試部長)、野田(図書館長)、大黒に加えて、坂本、寺井技術員のほか、工作技術センターからも出席予定ですので、万障お繰り合わせのうえ、ぜひご参加下さい。なつかしい顔ぶれ、フレッシュな顔ぶれと再会できることを楽しみにしております。



# 水交会活動報告

## OB・OGだより

平成7年 電気工学科卒（佐々木研究室）  
現在：秋田県立男鹿海洋高等学校 実習教諭  
江畑 邦彦 さん



早いもので、大学を卒業して15年以上が過ぎました。現在私は母校でもある男鹿海洋高校に勤務しており、今年で13年目になります。学校では情報分野を主に手がけており、また、本校独自の部活動「なまはげ太鼓部」の顧問もしております。それがきっかけで7年前には「男鹿つ鼓（おがっこ）」という社会人のなまはげ太鼓団体を立ち上げ、地元秋田県男鹿市を拠点に演奏活動をしております。数年前には八戸工業大学の学園祭にも出演させていただきました。ところで、韓流スター、イ・ビョンホンさん主演の韓国ドラマ「IRIS-アイリス-」をご存知でしょうか。現在、全国のTBS系列のテレビ局で放送されており、今後は世界17カ国での放送が決まっているそうです。実はこのドラマの第6話に私たち男鹿つ鼓の「なまはげ太鼓」が出演し、私はビョンホンさんの代役も務めました。ご興味を持たれた方は、男鹿つ鼓のホームページに詳しく載っておりますので是非どうぞ。最後に、全国の同窓生の皆さん、お近くで私達が演奏する機会がありましたら是非遊びにいらしてくださいね。  
<http://www.ogakko.com>

山村 暁宏 さん  
平成15年 大学院博士後課程電気電子工学専攻修了（十文字研究室）  
現在：パナソニック株式会社  
AVCネットワークス社 主任技師

皆さん、こんにちは。大学を離れてから、青森県の研究機関を経て、現在大阪で頑張っています。



今の会社に入ってからまだ3年目を迎えたところですが、大学や研究機関とは一味違い、商品に直結する研究・開発に少しづつ慣れてきたところなんです。学生生活を思い出すと、とにかく早く起きないと、授業も無意識のうちに学問以外のものもと大切な「姿勢」を学べたように思います。厳しかった先生方に囲まれて、「学ぶ姿勢」はもちろんですが、「考える姿勢」や周辺環境に「対応できる姿勢」の下地を作ったうえで、周囲に感じます。職場が変わりテーマが変わっても何とかやってこれているのはそのお陰のような気がしてなりません。辛い時期を越える度に、ありがたい副産物を身につけられたと思います。転んでもただでは起きない八戸工大魂で、時代の波を乗り切って行きましょう。

### 同窓生としての抱負

千葉 翔太 さん  
平成22年 電子知能システム学科卒  
就職先：日本電設工業株式会社



八戸工業大学で過ごした4年間は長いようで短い学生生活でした。大学生活では電気電子工学やロボット工学などの基礎知識を学び、クラスとの仲間と共に助け合いながらその知識を応用・発展できる力に身につけられました。さらに、資格試験では熱心な先生の指導もあり、第三種電気主任技術者試験において科目合格することができました。また、部活動ではビリーヤード部とウォーキング愛好会に所属し、先輩・後輩や他大学の学生など様々な方と交流することで社会人として大きく成長することができたと思います。4年生での卒業研修では、室長として研究室をまとめ、自ら課題を見つけそれに立ち向かうことで、課題を解決するためのプロセスや考え方を学びました。卒業後はこれらの経験を活かし、どんな辛いことにも負けず、チームの先頭に立てる技術者を志し、頑張っていきたいと思えます。

### 同窓生に贈る言葉

名誉教授 小松崎 年雄 先生（平成22年3月退職）



大学開学時に「機械工学科」に就職しました。その後、電気電子工学科へ移りました。この時期は、大学創立20周年の「同窓会」設立時の寄付金集めについてよく議論を交わしたものです。さて、電気電子工学科では、「社会に役にたつもの」という方針で実施しました。テーマとしては、「やさしいロボット教材開発」、「自閉症のための時間認識装置開発」、「鳥獣害防止（鳥獣との知恵比べ）」等々です。卒業研修を実施してみても、電気系学生の電気はもちろん、情報、機械への興味心とその能力に驚きました。学生の成果は、学会・社会からの評価も受け、やりがいのある楽しい時間を過ごすことができました。退職後も、八戸児童科学館でJSTからの助成を受けて小学生相手の「ロボット作り」を実施しています。もちろん教材は学生の開発した「やさしいロボット教材」を使用しています。ロボットのプログラムと対峙に動いたときの子どもたちの感動の笑顔を思い浮かべて、その準備に忙しかけております。興味と時間がありませんか。電気系同窓生のご健康とご活躍を期待しております。

### 学科近況報告

電気電子システム学科長 関 秀廣 先生

小松崎年雄教授は定年を迎えられて3月で御退職され、実践理科教育の活動を継続されています。また、今年4月に本学科の藤田成隆教授が第9代学長に就任され、エネルギー・環境分野を重視した教育の実践を掲げて新しい大学作りがスタートしています。学科は4月から電気電子システム学科としてリニューアル致しました。福士会長始めとして同窓会の皆様には学科運営に種々の支援を戴いております。水交会とは今後ともより一層連携を深める所存です。



キャンパス内を疾走する電気自動車

最適環境空間を最新の技術でお届け致します。

**三宝電機株式会社**  
URL: <http://www.seamec.co.jp>

各種電気・計装制御・空調衛生・クリーンルーム設備等  
総合設備の企画・設計・施工・メンテナンス

東京支店 〒105-0003 東京都港区西新橋3-8-3フジテック新橋ビル5F  
TEL.03-5472-3311 FAX.03-5472-0085

**SAKURA** 夢を未来へつなぐ限りなき挑戦

ワイヤーハーネス製造・加工、表面塗装、半導体組立(COB)  
CO<sub>2</sub>削減に貢献するLED照明関連商品の開発・製造

八戸市新商品開拓者認定企業(LED照明)

**桜総業株式会社**  
取締役社長 田中 敏夫  
執行役員青森工場長 福士 信雄(昭和52年3月電気工学科卒)

本社/〒230-0001横浜市鶴見区矢向4-30-16 電話:045-585-1424(代)  
国内工場・事業所/青森・白河・岡山 海外工場・事業所/香港・中国(深圳・上海)  
URL/<http://www.sakura-sohgyo.co.jp>

# シビル会 活動報告

## シビル会30周年記念総会開催

平成21年11月14日(土) 16時30分より、八戸グランドホテルを会場として、シビル会30周年記念総会が開催されました。シビル会は、環境建設工学科(旧土木工学科)の卒業生を会員とした同窓会組織です。総会では、節目の年に相応しく初代シビル会会長の工藤嘉範氏(秋田県議会議員)より「シビル会の30年を振り返って」と題して記念講演が行われました。参加した卒業生は、卒業後のそれぞれの歩みと重ね合わせながら、感慨深いものがあつたようです。

引き続き開催された懇親会では、日頃疎遠になりつつある卒業生同士や恩師との交流を深めながら、30年の重みと同窓であることの絆を再確認し、二次会・・・まで大いに盛り上がる会となりました。参加いただいた大学教員ならび同窓生各位に対して厚くお礼を申し上げます。



## 平成21年度学位記授与式

平成22年3月20日(土)平成21年度八戸工業大学学位記授与式が行われ、土木工学専攻博士前期課程では1名が、環境建設工学科では42名が卒業いたしました。環境建設工学科の手交式では、学位記と併せて全員にJABEE修了証が手交されました。また、Civii賞の表彰も行われ10名が受賞されました。また、卒業式の後、八戸グランドホテルにて謝恩会が盛大に行われました。卒業生は4月から社会人・大学院生として新たなスタートを切ることになります。1人ひとりの活躍を心より祈っています。



## ホタテ貝殻を地盤改良材に活用

### (卒業生と土木建築工学科の連携事業)

地盤工学研究室(熊谷浩二教授、金子賢治准教授)では、未利用資源であつたホタテ貝殻を大量かつ効率的に活用するために地盤改良材などに利用する検討を行っています。平成21年8月5日(水)に、南部町の夏堀組の夏堀大司氏(シビル会会長)と共同で同社敷地内においてホタテ貝殻地盤改良材を用いた実証施工を行いました。平成22年3月18日(木)には、地盤改良効



果を評価する公開試験が行われ、従来改良材として用いられてきた生石灰と同レベルの強度を持つていることがわかりました。土木建築工学科では、卒業生と土木建築工学科教員・学生との様々な連携事業を行っています。技術的なことでお困りの卒業生は、どうぞ遠慮なくご相談下さい。

## 八戸圏域水道企業団の

### 蟹沢水源地利樹会に参加

土木建築工学科では、地域の環境保全に貢献するために研究活動以外にも様々な環境保全活動に取り組んでいます。その一例として、八戸地域で行われている植樹祭に参加しています。八戸圏域水道企業団の蟹沢水源地利樹会が5月23日(日)に、土木建築工学科の熊谷浩二教授や企業団職員(卒業生含む)・学生および、市民合わせて約100名が参加しました。3年計画の最終年度ということで苗木2,600本を2,600㎡に植樹しました。植樹した苗木は、将来を考え、ミズナラ、コナラ、ヤマモミジ、クリ、ヤマハンノキ、ミズキ、コブシ、ケヤキ、イタヤカエデ、ヤマザクラなど多種類のものでした。今後は下草刈りなど樹木の生長を促す活動になります。



# 拓北会 活動報告

## 拓北会総会に出席して

6月26日、八戸グランドホテルにて建築工学科の同窓会である「拓北会」総会が開催された。例年通り総会議案が審議・討議され、また諸報告がなされた。これらのうちで大学側事務局の一人である筆者にとり、特に関係・関心があつた点について取り挙げてみたい。

まずは役員の改選があり、新会長、副会長、事務局長が選出された。大学同窓会の会長を兼務されていた白川直人氏（1回生）が会長を退かれて、新会長には前副会長の高橋和雄氏（2回生）、副会長には夏井博美氏（3回生）と浅利壽信氏（7回生）が、事務局長には齋藤綾子氏（19回生）が選出された。役員が一新され、新体制で拓北会は臨むことになった。

今年度の事業計画では、拓北会発足30年を機会に、「HITA2010事業」が提案された。具体的には、11月20日に会員による設計作品、建築作品を展示する「拓北会員による作品展」が八戸市内のホテルロビーで開催され、ついで同会場にて、20代、30代、40代、50代の会員をパネラーとして「建築（土木建築）工学科に期待すること」（仮題）と題してパネルディスカッションを行うことになった。また同日に、2年前に新学科、土木建築工学科が誕生したのを機に、環境建設工学科の同窓会「シビル会」と親睦をはかるために懇親会を催すことになった。建築工学科4年担任でもある筆者としても、4年生に上記の「作品展」とパネルディスカッションに出席・参加することを勧める所存である。先輩の設計作品、建築作品に後輩として当然関心を抱いているはずだからである。この意味で「HITA2010事業」の盛会を期待する。

「HITA2010事業」のほかにも、次のような「事

業」計画も了承されている。まず、今年度は4月から日建学院と事業提携がスタートし、この提携を確固としたものにする事となった。これにより建築士の資格取得で支援体制がいつそう整うことが期待される。次に、本学での就職支援事業が強化され予算も本格的に付いたことから、例年以上に卒業生が本学の教壇に立つて、授業または講演をする回数が増えることになった。すでに終了したが、土木建築工学科1年生に対して、現場の立場から「建築現場の管理・実務について」といった演題で講演がなされている。

講演者は卒業生の種市利弘氏（20回生）であつた。建築工学科4年生に対しては7月に、卒業研修の一環として建築工学の「社会・地域貢献」というテーマで、齋藤綾子新事務局長に有益で有意義な講演をしていただいた。3年生に対しては10月と11月に2回、卒業生による就職に関する講演または授業が予定されている。

また拓北会のホームページを充実すべく、建築工学科の院生が中心になって組織されていた「HP運営委員会」がこの総会で新機軸を打ち出すことになった。HPそのもののデザインを変え、またその内容も更新をはかり、特にブログの更新を頻繁に行い情報を活発に発信することになった。建築工学科の現職教員の近況も含めた新しい情報も7月にはお目見えすることになる。今回の総会では、HPの更新などにしかるべき予算を配分し、責任ある体制のもと運営を進める、ということが強調されていた。退職教員についても取材を通じて会員に新しい情報を発信できるようになることが望まれる。

筆者自身、総会への出席が初めてであつたが、昨年度から今年度にかけて、私的にあるいは公的に高橋新会長、浅利副会長、齋藤事務局長と会う機会があつたことから、懇親会では挨拶を兼ねて話し合いの機会が得られた。拓北会の活動とは無関係であるが、教職科目も担当している筆者はつい先日、今年度から教職の現場に教頭として復帰した高橋会長に急遽お願いして、教育実習に関する心得について実習予定者に講演をしていただいたばかりである。また浅利副会長には昨年3年生（当時筆者が担任）を対象に一級建築士の仕事ぶりについて講演していただいた。建築士

の実務を目の当たりにした学生がその「仕事ぶり」の画像を食い入るように見ていたのを私は記憶している。浅利氏には今年度も同様の講演をお願いしたところ、御快諾いただいている。また齋藤新事務局長とは、筆者が大学事務局の一人になったことから、相互の連絡などでお世話いただいているが、卒業生による本学での講演並びにその人選で今後とも御助力をお願いすることになる。懇親会は文字通り「懇親」のための会となつただけでなく、貴重な情報交換の場ともなった。

最後になるが、現場で活躍している先輩による講演、しかもたとえば一級建築士の実務、資格取得の必要性、そのための手段、といった話題を提供する講演は、学生の勉強意欲を高め、学習動機を明確にする絶好の機会となりうる、と筆者は考えている。この意味で今後も拓北会との連繋を緊密にし、好機を捉えて学生に先輩による講演を開催するように努めたい。

（記 高橋康造（建築工学科4年担任、拓北会大学事務局）



建築士の仕事ぶりを紹介する 齋藤綾子氏  
(7月、学内での講演)

# 学匠会 活動報告

## ■同窓生の皆さんへ

岡村 隆成

平成12年から10年間勤務し、この度、3月末日を持って定年退職しました。この間、学科名称は、平成14年に「エネルギー工学科」から「生物環境化学工学科」に変わり、そして、平成21年には「バイオ環境工学科」に変わっています。



この名称変更に伴って、学科の力リキユラムは生物・環境分野に大きく舵を切っています。随分と目まぐるしい変化ですが、これも大学が時代の流れを先取りするための対処の一つの現れと受け取って下さい。と言っても、こんなに名称が変わって卒業生の絆を保てるのだろうかとか心配が沸いて来そうですが、それは杞憂に過ぎないことが分かりました。今年3月の卒業式で、エネルギー工学科第6期卒業の江口氏が祝辞を述べられました。生物環境化学工学科の卒業生達はこの先輩の社会での経験から学ばれた言葉をしっかりと受け止めている様子を伺うことができました。

のよい場を提供してくれますが、卒業生がひよっこりと研究室に顔を出してくれたときなど、学生時代とは明らかに違った雰囲気を感じる事ができて随分と頼もしく思われます。機会がありましたら、是非大学を訪ねてみて下さい。

それでは、卒業生の皆様方の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

■OB・OG近況報告  
平成6年3月エネルギー工学科卒業  
（東京浜コーポレーション 藁科 仁

仕事の概要は『主として原子力・火力発電プラントに出張し、タービン・ボイラの材料、部品、溶接構造物、各種圧力容器などの非破壊検査や計測検査を行う。』というものです。

トラブル絡みで急遽出張し1人で明日まで終わらせるって現場もあれば、10人ぐらいで1ヶ月以上の仕事（毎週日曜は観光・グルメ・温泉のハンゴなど）って現場もあります。

出張先は、北は北海道、南は九州・沖縄まで、中には全く留まらず、アメリカ・オーストラリア・クエート・インドネシアなど海外の発電所まで広い範囲を飛び廻っています。

最も仕事が忙しい春と秋は、この時期は現場が終わってもすぐ次の現場へと渡り歩いていきます。土日は仕事ってこともこの時期にはよくあります。

またトラブル対応の仕事の場合、朝会社に出社したら今すぐ現地へ。ってなことも時々あり、最近では3連休前日の朝に、『明後日、台湾に行くって出来ないか。』と課長にお願いされ、30kg強の機材を担いで台湾の発電所まで行って仕事をしてきました。

ちなみに電力消費量が増える夏は、フル稼働中の発電プラントを止めることができないので、仕事の負荷も減る（早い話がチョイと暇になる）ので、この時期に有給休暇を活用して大型連休を取る人もいます。という私も、過去にイタリア・スペイン・カンボジア・トルコ・インド・ペルーなど、2週間〜1ヶ月間の有給休暇をとり、旅に出たことが多々あります。ちなみに今年にはケニア・タンザニア辺りを...



## ■学匠会報告

平成6年3月エネルギー工学科卒業  
八戸工業大学工学部バイオ環境工学科  
高橋 晋

エネルギー工学科9期生で、現在バイオ環境工学科の准教授をしている高橋です。これまで学匠会の顧問として長らくご指導頂きました村中健教授に

代わり、顧問を務めさせて頂くことになりました。村中先生は、顧問を退いた後も学匠会の活動支援を約束してくださいました。学匠会として、村中先生に深く感謝いたします。

私自身は大学を卒業してから17年、大学に勤めてから10年ほどたちます。自分が教えた卒業生はもちろんですが4・5年ほど前から私が大学にいることを知った同期の友達や後輩が大学に足を運んでくれる機会が増えてきました。今回、近況報告を寄せてくれた藁科とは同期であり、大学で開かれた藁科「学生と企業との就職懇談会」に4年ほど前から毎年参加して頂いています（毎年会うって呑めるのが楽しいです！）さらに毎年、本学科の学生を複数名採用して頂いた上に、入社後も大学の後輩として目をかけてくれ、こまめに近況を報告してくれています。学生を送り出す側としては絶大な安心感があるとともに、学生も先輩が勤めている会社への期待感と安心感で、就職懇談会での（東京浜コーポレーションのブースは大勢の学生が群がっています。同窓生の皆様も是非あらゆる機会をつくって大学に足を運んで頂きたいです）

今後先輩方が築き上げてきた学匠会を維持・発展させていくよう頑張ります。同窓生の皆様もご支援、ご協力ください。よろしくお願いします。



**株式会社ザックス**  
http://www.i-zax.com

理化学機器・放射線関連機器・試験エアフィルター等の販売  
化学工場及び研究施設の運転・保守  
計量証明・化学分析業務 等

八戸営業所 八戸市頰家 3丁目1-21  
Tel: 0178-73-3620

事業所: 東通村、六ヶ所村、大間、八戸



# うみねこ会 活動報告

## OB・OG 近況報告

○林 寛 (平成20年度卒業生：八戸工業大学大学院)

大学院に進学しても2学年です。就職活動と学会発表に向けた研究活動が重なり、大変な毎日です。研究室の後輩たちの面倒も見えています。春になり学部4年生が研究室に通い、ぎこちない、居心地が悪い、そんな雰囲気の研究室でした。トランプや飲み会などに付き合っ、ゴミの捨て方、研究室の掃除、鍵の管理などの生活指導もしてきました。最近では次第に打ち解けてきて、研究ゼミナールを一緒に進めています。自身の研究推進も大事ですが、こうした研究室のまとめ役が、大学院生としての生活を充実させ、自身の行動もキチンとしてきたことに気づきます。



私の研究テーマは、「非線形適応制御理論を用いた自動車の高応答制御」で、バックステッピング制御法というものに取り組んでいます。全く知らない理論なので、専門書、インターネット検索、さらに論文などを調査し、それをヒントにPCシミュレーションを行って、試行錯誤を繰り返すうちに、原理や特徴が少しずつ分かってきました。9月の学内中間発表と11月には学会発表を予定しています。就職状況はとも厳しいです。3月から数多くの企業を受験していますが、今年はどこも企業も採用人数を絞っていて、もう一歩というところでは、寝る前に「内定を貰えますように」と布団の中でおまじないを繰り返す毎日です。大学院生としての最終年度を充実させ、卒業後には一人前の社会人になれるよう頑張ります。

○遠藤 慎太郎 (平成20年度卒業生：サクサシステムエンジニアリング株式会社)

サクサシステムエンジニアリング株式会社に入社して2年目になります。現在はルータ機能に関する開発プロジェクトに参加しています。全てが初めてのことが多く戸惑うことも多いのですが、先輩等に指導を受けながら業務に取り組んでいます。進捗が遅れが発生した場合は、夜遅くまで残業をすることもありますが、仕事が辛いと感じるときもありますが、仕事を終えたあとに「お疲れ様」と言われると、努力した甲斐があったと感じます。



2年目に入り、先輩も入社してきました。1年目は先輩に教わってばかりでしたが、これからは今まで学んできた知識や技術を教える立場になります。まずは自分自身が一人前の技術者を目指して、これまで以上に努力していきたいと考えています。そして自身の夢や目標を達成できるよう、頑張っていきます。

## 卒業生向けのIT資格受験サービス開始

システム情報工学科では、昨年夏に開設されたIT系のような資格を受験できるテストセンター(ピアソンVUEテストセンター)を学外に向けて開放し、在学生はもちろん卒業生も受験できるサービスを開始しました。

これにより、八戸近隣に勤めている卒業生は仙台など遠方へ受験しに行く必要がなくなり、4年間学んだ環境でリラックスして受験することができるようになります。テストセンターの利用や受験に関するお問い合わせ・受験申込は、下記メールアドレスまでご連絡ください。

受付担当：小玉 (naru@hi-tech.ac.jp)  
主な受験可能資格

- シスコシステムズ認定試験 (CCENT<sup>®</sup> CCNAなど)
- オラクル認定試験 (ORACLE MASTER Bronzeなど)
- アドビ認定エキスパート認定試験 (Adobe Photoshop CS4 ACEなど)
- CompTIA認定試験 (CompTIA A+ Essentialsなど)
- Linux Professional Institute認定試験 (LPIC Level 1など)
- MySQL認定試験 (Certified MySQL Associateなど)
- PostgreSQL技術者認定試験 (PostgreSQL CE 8 Silverなど)
- VMware認定試験 (VCP4 Certification など)
- Zend PHP認定資格 (Zend PHP 5 Certificationなど)

## 第8回うみねこ会開催案内

毎年恒例のシステム情報工学科同窓会「うみねこ会」を学園祭初日に開催します。今年で8年目を迎え、毎年多くの教職員・卒業生が集まっています。卒業生なら誰でも参加可能です。是非御参加ください。詳細は後日うみねこ会Webページなどでお知らせします。

開催日：平成22年10月9日(土)

〈学園祭1日目〉

内容：学内で幹事会、その後八戸市内で懇親会を予定しています。申し込み先：katsuj@hi-tech.ac.jp

うみねこ会URL：http://alumni.hi-tech.ac.jp/umineko/

**saxa** 当社は優れた技術力と高い品質により、お客様から信頼される知的創造集団を目指します

主な営業品目  
通信・情報機器のソフトウェア開発、システム製品等の販売

**サクサシステムエンジニアリング株式会社**

八戸本社 八戸市北インター工業 団地1-3-54 TEL: 0179-20-4555	八戸第二オフィス 八戸市石堂2丁目24-30 TEL: 050-3387-1031	相模原オフィス 神奈川県相模原市中央 区宮下3-14-15 TEL: 042-772-4941
---	---	--

**HITACHI** Inspire the Next

人と社会に「快適で安全な環境」を提供しています

■ 革新的なイマジネーションと先端技術でチャレンジしています ■

WEBシステムなどのネットワーク構築から水道・道路・鉄道などの公共事業システム、原子力・火力関連のエンジニアリングまで人と社会が求めるあらゆる分野のコンピューティングに豊富なソリューションを提案しています。

〒319-1221  
茨城県日立市大みか町三丁目18番1号  
TEL 0294-53-8111(代表) http://www.hitachi-ijc.jp/

# 感性デザイン同窓会 活動報告

## ■お元気ですか？～元担任より～

○感性デザイン学部感性デザイン学科教授（第2期生担任）

小嶋 高良

感性デザイン学科第1期生、第2期生のみなさん！お元気ですか？お変わりありませんか？病気なんかかしていませんか？

感性デザイン学科も創設6年目を迎え、ビジネスアルデザインコースも開設され、従来の住環境デザインコースとの2コースとなり、ますます充実した教育環境の下で、学生たちと楽しく学んでおります。

企業とのコラボ企画商品もますます活発化し、「桃川のラベル」、「カネイリのてぬぐい」に続き、サークルKサンクスとのコラボ企画では学生がパッケージデザインした商品が青森県内のサークルKサンクスで販売されています。学生が企画・出演したテレビコマーションも流れています。そのコマーションの撮影は、大学の食堂で行われたり、メディアセンターの前で行われたり、学内も撮影のためにテンヤワンヤの騒ぎに、そのコマーションを見てはまた笑顔になったり笑いが出たりしております。

そのほかに、平成22年度八戸市景観賞募集ポスターデザインコンテストでグランプリを受賞したり、八戸市営バスと南部バスの乗車券PRポスターを制作し、入賞したポスター6点がバスの車内に掲示される等、学生たちの活躍は止処もなく快進撃を繰り返しております。

これもそれぞれ、第1期生、第2期生の卒業生（同窓生）の皆さんが、在学時に築き上げた感性デザイン学科の礎があればこそ心から感謝するとともに心から嬉しく思っているところなのです。

今後、後輩の感性デザイン学科の学生たちのますますの快進撃に、心からの応援と支援をお願いして結びとします。皆さん、いつでも大学を訪ね遊びに来て下さい。待っています。

## ■OB・OGだより

○森谷江里佳さん（平成21年度卒業・ティーマ株式会社）

私は入社して3ヶ月が経ちました。現在、青森市に勤務しています。英語事業部（子ども英会話教室）に所属しており、最初の仕事内容はサプライヤーでした。人と接する仕事や地域密着の仕事に興味があったので、毎日楽しく充実した日々を過ごすことができました。地域のお宅を訪問する仕事が多くあり、体力だけではなく、頭脳を駆使して仕事をしなければならぬことが大変でした。現在は、クローザーという仕事に従事しており、実際にご家庭を訪問して、ご家族へ英会話教室のご案内をするという内容です。実際に子どもに対して英語のレッスンをしています。子どもはとても素直なので、子どもたちとのコミュニケーションも楽しいです。これらの仕事は感性デザイン学部の教育で養われたコミュニケーションの能力を発揮する場であり、現在も大変役に立っています。ポディランゲージや実際の英会話については、2年生の時に参加した米国海外研修の経験が生かされています。仕事が夜遅くまで続くこともあり大変な時もありますが、職場環境も良く、上司や同期などの人間関係にも恵まれており、周りに支えられて仕事が充実しています。

私生活では、買い物（ファッション）やランチをするのが楽しみであり、たまに八戸へ遊びに来て学生時代の友人と会うことも楽しみの一つです。

様々な不安もありますが、それ以上に自分自身が成長できている仕事だと感じているので頑張っていきたいと思えます。

○元沢むつみさん（平成21年度卒業・株式会社横浜ファーマシー）

株式会社横浜ファーマシーに入社して3ヶ月が経ちました。私は4年生のときに就職活動に大変力を注ぎました。やっとの思いで入社できた会社なので苦労していることでもあります。毎日充実した日々を過ごしています。

私が大学生活で最も力を入れた教科は卒業論文でした。卒業論文のテーマは「南部弁の使用状況調査と考察」気分が面白い方言をめぐって」でした。日常では気付かない方言に興味を持って、私の地元であるこの地域の南部弁ではどのような言葉が気付かない方言として使われているのかに興味を持ち、この研究に取り組みました。地域に密着し

た研究をしてみたかったので、本当に充実していました。研究室の川守田先生はいつも親身になって下さり、いつも笑顔が絶えない先生だったので、とても励まされておりました。お陰様で無事論文を書き上げることができました。

私が学生生活で特に印象に残った出来事は海外研修です。英語力が身についたことは勿論のこと、同学年の仲間との結束力が強まった海外の滞在となりました。この結束力は現在でも続いて私の宝となっています。美術館では、教科書でお馴染みの有名な作品を生で鑑賞することができて、とても印象に残りました。

大学での経験を現在現在の仕事では、主に接客・コミュニケーションや販売に行かされています。感性デザイン学部での学生生活に心から感謝しています。



学科を訪れてくれた  
森谷さん(左)と元沢さん(右)

## ■おわりに（事務局より）

おかげさまで感性デザイン学部も今年で開設6年目を迎えることができました。今年度の入学生は過去最大数で本学部が認知され、地域に浸透してきたことが伺えます。小嶋教授からの報告にもありましたように、コラボ企画や様々な活動を活発に行っており、元気のある学科なので、卒業生のみならずも時々遊びに来て下さい。

来年度は、卒業生の集う会を感性デザイン同窓会が企画する予定となっております。地元八戸で実施予定です。卒業生もまだ少数で未熟な私達ですが、楽しく、充実した集う会となるように努力致しますのでご協力をよろしくお願い致します。



コラボ企画の一作・  
酒類ラベルデザイン

# 同窓会ニュース

## ・新学長に藤田成隆副学長が就任

平成22年4月1日、第9代学長に藤田成隆先生がご就任されました。先生は、昭和50年10月、本学電気工学科に着任されました。平成13年4月には、電気電子工学科長に就かれ、その後学務部長、教育研究戦略室長、学長補佐、社会連携学術推進室長、基礎教育研究センター長、感性デザイン学部長、副学長の要職を歴任しています。就任早々、学内の教育・広報の改善や社会連携の強化に着手されています。



## ・瀋陽工業大学と本学の学術交流協定を締結

中華人民共和国の瀋陽工業大学と本学の学術交流協定により、これまで数名の留学生を大学院博士後期課程に受け入れ、博士(工学)の学位を授与してきました。その協定が満期を迎え、この度李栄徳学長が来学し、新たに協定を締結しました。また、「中国高等教育の現状と最新の進展」と題して、中国国内の大学の現状について、李学長の特別講演が開催されました。今後、さらなる交流の発展が期待されます。

八戸工業大学、瀋陽工業大学間の  
友好的な学術交流に関する協定書並びに実施に関する協議書調印式



## ・待望のメディアセンター完成

八戸工業大学創立30周年(平成14年)記念事業の一環として建設が進められていたメディアセンターが完成し、平成21年10月より運用が開始されました。新たな教育および学術情報交換の場としてのみならず、学生と地域住民との連携交流など、あらゆるコミュニケーションの場として、そして情報発信の拠点として活用されます。2階には同窓会室も完備され、早速、理事会などの会議に使用させていただきます。ご寄付をいただいた同窓会員の皆様には厚くお礼を申し上げます。



## ・新任教職員プロフィール

平成22年度より、田村充治教授ならびに佐藤学准教授の2名の先生が新たに赴任されました。今後ともよろしくお願いいたします。

### 田村 充治(たむら みつはる)



- ①出身校 ②前歴 ③専門分野

基礎教育研究センター教授  
(併)機械情報技術学科・社会連携学術推進室

- ①弘前大学理学部数学科
- ②青森県教育委員会教育長
- ③教育行政、数学

### 佐藤 学(さとう まなぶ)



機械情報技術学科准教授  
(併)基礎教育研究センター

- ①東北大学大学院工学研究科原子核工学専攻博士課程前期
- ②東北大学大学院工学研究科准教授
- ③原子力材料工学

## ・退職教員

以下の先生が本年3月31日をもって退職されています。

- |            |     |       |
|------------|-----|-------|
| 電子知能システム学科 | 教授  | 小松崎年雄 |
| システム情報工学科  | 教授  | 苫米地宣裕 |
| バイオ環境工学科   | 教授  | 岡村 隆成 |
| 基礎教育研究センター | 准教授 | 高橋 哲徳 |

## ・村上孝一元学長、庄谷征美前学長 逝去

3月29日に本学名誉学長で元学長の村上孝一先生が、お亡くなりになりました。享年84歳でした。村上先生は、平成元年4月に本学に副学長・教授として着任され、平成5年4月に学長に就任、平成12年に退任するまで7年間に亘って本学発展のために尽力されました。

また、6月1日、病氣療養中だった前学長の庄谷征美先生が、お亡くなりになりました。享年65歳でした。庄谷先生は、昭和59年4月に本学に助教授として着任し、その後土木工学科長、環境建設工学科長、学生部長などの要職を歴任されて平成18年4月に学長に就任、本学において学生・後進の指導と育成に力を尽くされ、多大な貢献をなさいました。両先生のご功績とご人徳を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。

同窓会事務局の連絡先（各種連絡先としてご利用下さい）

本部事務局(学務部学生課)  
TEL.0178-25-8027 E-mail:dosokai@hi-tech.ac.jp

機械工学科・産業機械工学科・機械情報技術学科(機械情報技術学科事務局)  
TEL.0178-25-8010 E-mail:dosokai-m@hi-tech.ac.jp

電気工学科・電気電子工学科・電子知能システム学科(電気電子システム学科事務局)  
TEL.0178-25-8020 E-mail:dosokai-e@hi-tech.ac.jp

土木工学科・環境建設工学科(シビル会事務局)  
TEL.0178-25-8067 E-mail:dosokai-c@hi-tech.ac.jp

建築工学科(建築工学科事務局)  
TEL.0178-25-8040 E-mail:dosokai-a@hi-tech.ac.jp

エネルギー工学科・生物環境化学工学科(バイオ環境工学科事務局)  
TEL.0178-25-8050 E-mail:dosokai-p@hi-tech.ac.jp

システム情報工学科(システム情報工学科事務局)  
TEL.0178-25-8080 E-mail:dosokai-i@hi-tech.ac.jp

感性デザイン学科(感性デザイン学科事務局)  
TEL.0178-25-8070 E-mail:dosokai-k@hi-tech.ac.jp

同窓会事務局から

●ご家族の方へ

本誌同窓会報をご家族の方が見て同窓生本人が見ていないことがあるようです。お手数ですが、ご子女に了承いただき同封の表紙にご子女現住所等必要事項をご記入のうえ、フリーFAXにてご送付下さい。

●同窓生の皆様へ

会報が届かない、見たことがないといった同窓生がおりましたら、本部事務局まで電話またはメールで送付先(氏名、現住所、学籍番号または卒業年科)を連絡するようお願い下さい。また現住所等変更になりましたら、速やかに同窓会事務局までご連絡下さるようお願いいたします。

協賛金のお願い

平成14年3月に同窓会報第1号(創刊号)を発行以来、号を重ねて今回も約12,000名の会員にお届けすることができました。会報を通して、新たな会員相互の親交が生まれたというお話を伺います時、発行の継続が同窓会本来の目的に叶っていくものと考えます。今後、会報発行を維持していくための費用として、皆様には昨年より、協賛金のお願いをさせていただいております。次号もまた、皆様からの様々なご意見に耳を傾け、魅力ある紙面づくりに頑張っております。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

同封物の見方

貴方の整理番号です。

住所未確認(不明者)リスト  
現在、住所が判らず会報等お届けできない方々です。貴方の同期に近い方と、ご近所の方を抜粋しました。  
ご存知の方がいらっしゃいましたら、情報をお寄せ下さい。また、ご提供いただきました情報の取り扱いについては細心の注意を払っておりますので、安心して情報をお寄せ下さい。

住所・お勤め先が変わられた方で、FAXをご利用の際ご利用下さい。

携帯電話からも住所変更出来ます。

同窓会活動を永続的なものとするため、毎年、協賛金を募っております。何卒できるだけご協力をお願いいたします。

現在、同窓会でお預かりしている貴方の情報です。

貴方の学籍番号です。

住所未確認者をお知らせいただくのにご利用下さい。

お近くの郵便局または、コンビニエンスストアをご利用下さい。

〈お問い合わせ〉

フリーダイヤル 0120-10-9899 (内線92) 平日10:00~16:00  
フリーFAX 0120-10-9184 24時間受付